

令和2年第6回庄原市議会定例会

一般質問通告者 及び 質問事項

令和3年1月6日～1月8日

質問順位

- | | | | |
|-----|------|-----|------|
| 1. | 近藤久子 | 2. | 五島誠 |
| 3. | 岩山泰憲 | 4. | 門脇俊照 |
| 5. | 赤木忠徳 | 6. | 政野聖太 |
| 7. | 谷口隆明 | 8. | 山田三 |
| 9. | 福山権二 | 10. | 坂本義明 |
| 11. | 徳永泰臣 | 12. | 林高正 |
| 13. | 桂藤和夫 | | |

庄原市議会

令和2年12月定例会一般質問

順位	質問議員	質問項目	ページ
1	近藤久子	「全国に誇れる市民の博物館・資料館」に向けた取り組みについて	1
		庄原市民会館・庄原自治振興センター改修時における、事務所と生涯学習の活動拠点について	2
		発達障がいのある子どもへの支援について	
2	五島 誠	令和3年度予算編成に向けて	3
3	岩山泰憲	水道料金の引き下げと水道組合等への対応について	5
		イノシシ被害から農家を守るために	
		小中学校の統廃合計画の見直しについて	6
		休暇村吾妻山ロッジの実質閉館について	
4	門脇俊照	株式会社比婆の森の自己破産手続き開始決定後の総括、対応について	7
		かんぼの郷庄原について	8
5	赤木忠徳	地域の課題や住民の皆さんの求めていることを把握して、政策を実施しているのか	9
		「ここに住みたい！庄原に住みたい！」の基本となるインフラストラクチャーの整備を	11
		ふるさと納税やクラウドファンディングを利用して活性化を	13
6	政野 太	本市の都市計画について	14
		民間のノウハウを活かしたまちづくりについて	15
7	谷口隆明	2021年度予算編成方針について	17
		新型コロナウイルス感染症対策について	18
		医療・介護について	19

8	山田聖三	放牧を基本とした和牛振興について	20
		在宅を基本としたまちづくりについて	21
9	福山権二	学校における働き方改革取組方針について	22
		庄原市職員に関する働き方改革について	
10	坂本義明	J R 備後庄原駅周辺の活性化について	23
11	徳永泰臣	かんぼの郷庄原の今後の活用方針について	24
		株式会社比婆の森の自己破産手続き開始決定、休暇村吾妻山ロッジの実質閉館による影響について	
		比婆山連峰の活用について	25
12	林 高正	人口減少問題について	26
		旧庄原市内のまちづくりについて	
		庄原市の教育の魅力化について	27
13	桂藤和夫	本市の林業振興策について	28
		市立学校適正規模・適正配置基本計画について	29

1月6日（水） 近藤久子・五島誠・岩山泰憲・門脇俊照

1月7日（木） 赤木忠徳・政野太・谷口隆明・山田聖三・福山権二

1月8日（金） 坂本義明・徳永泰臣・林高正・桂藤和夫

順位	1	質問者	近藤 久子	
項目	質問の小項目及び要旨			答弁を 求める者
1. 「全国に誇れる市民の博物館・資料館」に向けた取り組みについて	<p>「庄原市博物館・資料館の新たな在り方基本計画（第1期）」は、平成23年度を初年度とし平成27年度を目標年度とする5カ年計画であった。当該計画の成果と課題を踏まえ、平成28年度から令和2年度までの、第2期の基本計画が策定され、様々な事業展開を図ることで、各館が地域と共に成長し、ともに地域の魅力と価値を高め、「全国に誇れる市民の博物館・資料館」となるよう計画されている。第3期の計画策定に向け、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 教育・自治振興・産業振興の各分野との連携・啓発の推進について。</p> <p>(2) 口和郷土資料館における、今後期待される事業内容と、セキュリティを含む施設整備と運営の計画について。</p> <p>(3) 帝釈峡馬渡遺跡発見から、来年は60周年を迎える。これは、展示品の価値を広くPRするチャンスであるが、これに関して帝釈峡博物展示施設「時悠館」の果たす役割を伺う。まちづくりに活かすためにも、専門家からの遺跡についての価値ある発信が必要ではないか。</p> <p>(4) 田園文化センターに「倉田百三文学館」が併設されているが、倉田百三自身についての理解者が減少傾向ではないかと思われる。永く次世代に引き継ぐ施策について伺う。</p>			教育長

順位	1	質問者	近藤 久子	
項目	質問の小項目及び要旨			答弁を 求める者
2. 庄原市民会館・庄原自治振興センター改修時における、事務所と生涯学習の活動拠点について	<p>両施設は、令和3年度から改修工事が開始となるが、それに伴い生じる以下の点について伺う。</p> <p>(1) 庄原市民会館と庄原自治振興センターの事務所の工事期間中の移転先について。</p> <p>(2) ふれあいセンターのコパリホールや、会議室の利用も増えると考えられるが、窓のブラインドや冷暖房機能を初め、約2年間の利用について配慮しなければならない箇所が多く見受けられる。</p> <p>現在の活動の継続が可能となる整備について伺う。</p> <p>(3) 数多くの生涯学習グループが2つの施設を利用されているが、代替場所の確保について伺う。</p>			市長 教育長
3. 発達障がいのある子どもへの支援について	<p>平成30年5月に策定された第3期庄原市障害者福祉計画において、発達障害児への支援として、「国の指針に基づき、児童発達支援センターの設置を検討します」との記述があるが、現段階までの検討の内容と、今後の方向性について伺う。</p>			市長

順位	2	質問者	五島 誠	
項目	質問の小項目及び要旨			答弁を 求める者
1. 令和3年度予算編成に向けて	<p>本年立ち上げた地域政党きずな庄原は、「持続可能な庄原市になるために今を耕し明日へ向かう～先人のバトンを未来（あなた）へ～」をスローガンに掲げ、100年後も「住んで満足、住み続けたくなるまちづくり」を目指している。</p> <p>この政策方針に基づき、本市の令和3年度予算編成にあたり、政策提案の一端として庄原市議会議員団から要望した以下の項目について所見を伺う。</p> <p>(1) 庄原市立学校適正規模・適正配置基本計画の見直しを検討するとともに、GIGAスクール構想などを踏まえて、本市の公教育の魅力化・ブランド化を図ることについて。</p> <p>(2) 子育て世代のセーフティネットづくりを進めるとともに、子育て支援施策の更なる充実を図ることについて。</p> <p>(3) MaaSなどを積極的に導入し、誰もが自由に移動できるよう本市の公共交通体系を見直すとともに、誰もが生きがいを持ち活躍できる環境を整えることについて。</p> <p>(4) 新たな森林経営管理制度の取り組みを推進するとともに、自伐型林家の育成を図り林業で暮らしていけるまちづくりを進めることについて。</p>			市長 教育長

順位	2	質問者	五島 誠	項目	質問の小項目及び要旨	答弁を 求める者
1. 令和3年度予算編成に向けて	<p>(5) すべての市民の命を守る食糧の確保はもちろんのこと、農のある暮らしや1町(1ヘクタール)で暮らせる農業のまちづくりを進めることについて。</p>	市長 教育長				
	<p>(6) コロナ禍においても、「密」の少ない本市の強みを生かした産業、観光プロモーションの推進を図ることについて。</p>					
	<p>(7) 市民が主役の地域づくりを進めるため、自治振興区の仕組みや支所機能の見直しを行うことについて。</p>					
	<p>(8) 市役所職員がいきいきと職務に専念できる職場環境を整えるとともに、市民にやさしい心通う行政組織の構築を図ることについて。</p>					

順位	3	質問者	岩山 泰憲
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 水道料金の引き下げと水道組合等への対応について	<p>広島県内の水道料金を比較すると庄原市は高い方に位置している。一方で、水道事業会計の収支をみると毎年黒字であり、水道料金は適正な額に下げべきではないか。</p> <p>また、近年、水道事業の県内広域連携も検討されているが、市内では、未整備の地域があるほか、かつての諸事情で各地域に作られた水道組合への対応という課題がある。特に水道組合の施設については、他の市町では、市町の水道施設として整理され、住民負担を軽減している実態があるが、本市ではこのような取り組みを行わないのか。</p>		市長
2. イノシシ被害から農家を守るために	<p>国においては、以前から、イノシシの防護柵や電気牧柵について、地域の3戸以上が共同で実施すれば、費用は全て国の負担で配布している。</p> <p>本市では、この有利な国が無償配布する事業については防護柵のみ希望調査しているが、防護柵の設置が困難な地域の農地をイノシシから守るためには、電気牧柵についても取り組むことが必要と考えるが、見解を伺う。</p>		市長

順位	3	質問者	岩山 泰憲
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
3. 小中学校の統廃合計画の見直しについて	<p>文部科学省においては、平成27年1月に出した「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」を活用して、地域の実情に応じた活力ある学校づくりの検討・実施が適切に行われるよう求めている。本市においては、既に地域と学校、保護者がより良い教育環境を構築しており、学力の良さも目を見張る状態であるにもかかわらず、本市教育委員会では統廃合の計画を作り進められている。現在まで各学校で培われた地域と一体となった各種取り組み全てを解消して新たな学校区になることは、子供たちの教育に弊害の方が大きいと考える。</p> <p>また、最近ではコロナ禍の問題もあり、国においても少人数学級の議論がされている。児童・生徒数についても、計画策定時とは逆に増加している学校区もある中、本市の学校教育の根幹にかかわる統廃合の計画は、早急に見直しが必要と考えるが、教育長の見解を伺う。</p>		教育長
4. 休暇村吾妻山ロッジの実質閉館について	<p>吾妻山の国定公園内にある休暇村吾妻山ロッジが11月15日で実質閉館されると新聞報道があったが、今後の市としての対応について伺う。</p>		市長

順位	4	質問者	門脇 俊照	
項目	質問の小項目及び要旨			答弁を 求める者
1. 株式会社比婆 の森の自己破 産手続き開始 決定後の総括、 対応について	<p>7月31日、株式会社比婆の森の自己破産手続き開始申立が報道され、驚きと戸惑い、不安が市民に広がり4カ月が経過した。このことについては本年9月の一般質問で複数の議員から質問があったが、市民が納得いくような回答はなかった。</p> <p>木山市長も、広島県立県民の森は本市にとって貴重な資源・財産であり、早期の施設再開に向け、広島県と連携して対応を検討していく、とコメントされた。そこで、自己破産手続き開始決定後の総括と対応の経過を伺う。</p> <p>(1) 比婆の森の自己破産手続き開始決定から4カ月が経過したが、市の総括はできたのか伺う。</p> <p>(2) 同社については、平成30年度に経営健全化方針を策定し取り組みを行っているが、効果はあったのか伺う。</p> <p>(3) 同社の自己破産手続き開始決定後の県民の森の現状を伺う。</p> <p>(4) 現在利用休止となっている県民の森の施設について、県は来年4月に再開する方針を決めたが、これに関して本市との協議はあったのか伺う。</p> <p>(5) 第三セクターの自己破産手続き開始の教訓は他の第三セクターにどのように活かされるのか伺う。</p>			市長

順位	4	質問者	門脇 俊照
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
2. かんぼの郷庄原について	<p>かんぼの郷庄原の譲渡打診があったが、結論はコロナ禍で先延ばしになっている。この間、いまだ市民には譲渡を受けた場合のメリット、デメリットが明確に示されていない。市場環境等の調査結果も出たとのことであるが、それも踏まえ経過を伺う。</p> <p>(1) この間、日本郵政株式会社との協議はどのようにされているのか伺う。</p> <p>(2) 譲渡を受けた場合のメリット、デメリットを伺う。</p> <p>(3) コロナ禍による休業後、再開されたかんぼの郷庄原を運営する第三セクターの経営は安定しているのか伺う。</p> <p>(4) 業者からの調査結果の報告があったと聞くが、その内容を伺う。</p>		市長

順位	5	質問者	赤木 忠徳	項目	質問の小項目及び要旨	答弁を 求める者
1. 地域の課題や住民の皆さんの求めていることを把握して、政策を実施しているのか	<p data-bbox="531 347 1187 566">コロナウイルス感染症の猛威により、地域経済やイベントは壊滅的な影響を受けている。今、市民が最も願っていることは、一日も早いコロナウイルス感染症収束であろう。</p> <p data-bbox="531 589 1187 869">本市も、コロナ禍への対応に伴う財政調整基金の取崩しにより、大型施策も打てない状況であるが、第2期長期総合計画に基づいて、総合的な見地から計画的に確実に目標に向かって政策を実施していかなければならない。</p> <p data-bbox="531 891 1187 1171">しかし、近年の施策は、各地域の住民の願いと乖離してきているように思われる。市政懇談会も一方的な市行政の説明に終始し、地域課題を把握する場になっていないのではないのか。</p> <p data-bbox="547 1193 1187 1541">(1) 特徴ある地域を形成するには、支所長を中心に地域の課題、地域の皆さんの願い、地域の活性化を集約する体制づくりが重要であるが、集約する仕組みがどのように形成され、どのような地域課題や願いがあるのか、各支所単位で伺う。</p> <p data-bbox="547 1563 1187 1776">(2) 地域の皆さんの思いの一つとして、農家の副収入の増加や地域活性化を目指して、農産物加工所の開設要望を多く聞くが、把握されているのか。</p>	市長 教育長				

順位	5	質問者	赤木 忠徳	項目	質問の小項目及び要旨	答弁を 求める者
1. 地域の課題や住民の皆さんの求めていることを把握して、政策を実施しているのか	<p>(3) 県民の森施設の一部利用休止に続いて比和の休暇村吾妻山ロッジの実質閉館は、地域の希望のともし火が消されたような一大事である。いち早く、地域に情報を伝えて対策を講じるべきと考えるが、今回の休暇村吾妻山ロッジの実質閉館を本市はいつの時点で把握されたのか。</p>	市長 教育長				
	<p>(4) 令和3年4月には学校適正規模・適正配置基本計画により、第1グループで合意された地域の学校統廃合が実施されようとしている。第2グループ以降については、以前、西城地域の斎場利用延長の要望書が出されたときのように、理解を求めることを優先し、計画どおり実施されるのか、それとも地域の課題、願いを十分集約して改めて結論を出すのか伺う。</p>					

順位	5	質問者	赤木 忠徳	項目	質問の小項目及び要旨	答弁を 求める者
2. 「ここに住みたい！庄原に住みたい！」の基本となるインフラストラクチャーの整備を	<p data-bbox="528 349 1187 869">広島県は、令和2年6月に「広島県水道広域連携推進方針」を策定し県内の水道事業の経営組織を一元化することとし、各市町に対し、参加について今年度中の判断を求めている。しかし、当初の計画から、既に、広島市、福山市が参加をしないと表明し、人口メリットが減少している。先日、議会に説明されたが、判断するまでには本市の課題を解決する必要があると思われる。</p> <p data-bbox="528 891 1187 1357">(1) 本市では、合併前から水道組合を設立させ地域に水道網を整備してきた経緯があるが、現存する水道組合について、その数は幾らか。また、水道組合の給水人口、共同給水管の総延長距離と、それぞれの全体における割合(パーセント)は幾らなのか。併せて、ポンプ施設を有する場合の年間維持費について何う。</p> <p data-bbox="528 1379 1187 1536">(2) 本市と水道組合との協定書等では、共同給水管の再布設費用は水道組合が負担することになっているのか。</p>	市長				

順位	5	質問者	赤木 忠徳	項目	質問の小項目及び要旨	答弁を 求める者
2. 「ここに住みたい！庄原に住みたい！」の基本となるインフラストラクチャーの整備を	<p>(3) 水の供給は生活権にかかわる最も重要なものである。広島県の水道事業一元化は、将来の給水人口減少と施設更新維持費の増加を予想しての考えであるが、その予想より前に、水道組合では構成員が減少し、維持できなくなることが当然考えられる。その対策はどのようにされようとしているのか伺う。</p>	市長				
	<p>(4) 広島県水道広域連携企業団に参加の判断をする前に、先送りすることなく明確に関係住民に水道組合の方針を表明することが必要と考えるがいかがか。</p>					
	<p>(5) 生活用水確保は地域で暮らしていくためには必須である。水道布設が困難な地域については、ボーリング助成を拡充する必要があるが、どのようにされるのか伺う。</p>					

順位	5	質問者	赤木 忠徳
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
2. 「ここに住みたい！庄原に住みたい！」の基本となるインフラストラクチャーの整備を	<p>(6) 生活雑排水を河川に流すことは、水質環境を悪化させる要因の一つである。これらを厳しく取り締まる一方、生活雑排水を流させないための施策を充実させる必要がある。管処理区域外では合併浄化槽方式を推進しているが、市街地では家屋・店舗が密集する地域特性があり、なかなか導入が進んでいないのが現状である。特に西城市街地は、合併地区内の市街地で唯一水洗化不可能地域である。明神町地域に引き続き、本町、中町、十日市、五日市、中野地域が水洗化可能地域になるよう、排水路整備を拡大することが必要だと考えるが、計画を伺う。</p>		市長
3. ふるさと納税やクラウドファンディングを利用して活性化を	<p>ふるさと納税制度が開始されたときから、我々会派は導入を盛んに促してきたが、当時の市長は本来の目的と違うと消極的であった。しかし、近年は充実してきており、努力を賞賛したい。</p> <p>先日、新聞にコロナウイルス感染症に負けずに頑張る地域企業を応援するクラウドファンディングとふるさと納税に関する洲本市の広告が掲載された。12月はふるさと納税が一番多い時期でもあり、本市でも新たな企画に取り組んでみてはいかがか。</p>		市長

順位	6	質問者	政野 太
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 本市の都市計画について	<p>(1) 本市は2008年に策定された庄原市都市計画マスタープランに基づき、都市計画区域に指定された庄原地域、東城地域、西城地域の都市整備を進めてきた。庄原市都市計画マスタープランは策定から12年、上位計画である庄原市長期総合計画は第2期の策定から既に4年が経過している。本マスタープランの達成の状況、本市の長期総合計画との整合性、理念の共有について検証が必要であると考え、市長の見解を伺う。</p> <p>(2) 広島県は現在、「コンパクト+ネットワーク型の都市」、「活力を生み出す都市」、「魅力あふれる都市」、「安全・安心に暮らせる都市」、「住民主体のまちづくりが進む都市」の5つを目指すべき将来像とし、広島圏域、備後圏域、備北圏域の3つのエリアに分けた県全体の都市計画区域マスタープラン策定を進めている。本市も人口減少、超高齢化社会、気候変動に伴う防災などの新たな視点を加えた本市の未来像である都市計画マスタープランの策定が必要と考え、市長の見解を伺う。</p>		市長

順位	6	質問者	政野 太	項目	質問の小項目及び要旨	答弁を 求める者
2. 民間のノウハウを活かしたまちづくりについて	<p>(1) 企業版ふるさと納税制度は、本市の諸課題解決に効果がある制度である。この制度は、第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の実現に向けたものであり、全国的にも企業版ふるさと納税を活用したまちづくりを実施している自治体が令和2年11月現在で46道府県、899市町村と全市町村の半数を超え、広島県も13市町が国の認定を受け、取り組んでいる。この企業版ふるさと納税制度を活用し、全国に本市の魅力を発信することで、本市のさまざまな活性化施策の横断的な展開も期待できるものと考えますが、市長の見解を伺う。</p>	市長				

順位	6	質問者	政野 太	項目	質問の小項目及び要旨	答弁を 求める者
2. 民間のノウハウを活かしたまちづくりについて	<p>(2) 公共施設運営あるいは事業に関して、民間のノウハウを活用する「民間提案制度」に取り組む自治体が増加している。国はこれまでのPPP/PFI事業の検証を行い、フォローアップ、重点分野の進捗状況を踏まえ、本年7月にPPP/PFI推進アクションプランの改訂版を策定し、更なる制度推進を促している。本市においても、民間主導で組織された「庄原の人口問題をとことん考える民間会議」からさまざまな事業提案が行われてきたことから、行政負担を軽減し、市民福祉の向上を図るには、「民間提案制度」の活用が効果的である。まずは、地域の企業、金融機関、行政、市民団体でPPP/PFI地域プラットフォームを形成し、官民対話の場をつくるべきと考えるが、市長の見解を伺う。</p>	市長				

順位	7	質問者	谷口 隆明
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 2021年度予算 編成方針につ いて	(1) 2018年及び2020年の豪雨災害の早期復旧・復興を最優先事業と位置づけ更なる加速化を図るとあるが、具体的にはどのように推進されるのか。		市長
	(2) 部門別包括予算制度により、既存事業の「選択と集中」、各部署での行政ニーズを踏まえたビルド&スクラップの徹底が言われている。部門別包括予算制度について、今年度予算における具体的成果と新年度予算の削減目標2.6億円の根拠について伺う。		
	(3) 国や県の政策理念や施策内容の熟知、積極的な情報収集が言われているが、具体的な方策について伺う。		
	(4) 小学校5校を休校または廃止し、新たに1校を設置する予定であるが、本市の財政への影響はどのように試算しているのか。		
	(5) 新型コロナウイルス感染症の影響で、地方交付税や市税など一般財源の下振れが確実な情勢となっているとしているが、本市への影響はどのように推計しているのか。		

順位	7	質問者	谷口 隆明	項目	質問の小項目及び要旨	答弁を 求める者
1. 2021年度予算 編成方針につ いて	(6) 予算規模、標準財政規模、経常的経費の 合計などは合併当初の水準になった。2005 年度と2019年度の普通会計決算を性質別経 費で比較すると、人件費と公債費の合計は 約34億円減少しているが、扶助費、補助費 等、物件費、繰出金の合計は約33億円増え ている。標準財政規模や経常一般財源は、今 年度の水準を維持するように推計をされて いるが、人口減少に見合った補助費等や物 件費の削減は避けて通れないのではない か。市長の見解を伺う。		市長			
2. 新型コロナウ イルス感染症 対策について	(1) 広島県では、全ての市町でPCR検体採 取ができるようになり、検体採取ができる クリニックは県内で900を超えていると聞 くが、庄原市内での具体的な取り組み方針 や住民への周知方法について伺う。 (2) 新型コロナウイルス感染症患者受け入 れ病院の医療従事者への月1回のPCR検 査ができるようになったが、この定期検査 の対象を全ての医療従事者に広げるべきで はないか。また、高齢者施設や障害者施設の 職員の月1回の抗原検査も実施されること となったが、クラスターの発生を防ぐため、 対象を学校関係や保育関係者などへも広げ るよう広島県に働きかけ実現すべきと考え るが、見解を伺う。		市長			

順位	7	質問者	谷口 隆明
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
3. 医療・介護について	(1) 新たな財源が必要にはなるが、子ども医療費への助成を近隣市町並みの18才までに拡充すべきではないか。		市長
	(2) 国民健康保険特別会計の財政調整基金の活用について、新年度の方針を伺う。		
	(3) 第7期の介護保険特別会計の決算剰余金の状況から見て、第8期の介護保険料の引き上げも行うべきではないと考える。同時に介護保険財政への国庫負担の割合の大幅な引き上げを求め実現しないと、過疎・高齢化先進地の本市の介護保険財政の運営は難しくなるのではないか。市長の見解を伺う。		

順位	8	質問者	山田 聖三	項目	質問の小項目及び要旨	答弁を 求める者
1. 放牧を基本とした和牛振興について	<p>農林業の振興は本市の主要施策であり、特に和牛振興においては、比婆牛ブランド化推進事業等により推進しているが、これからは、各種事業を連携させ、和牛振興の推進を図る必要があると考える。今後の和牛振興の方向性について、市長の見解を伺う。</p> <p>(1) まず、和牛振興における比婆牛の地理的表示保護制度(GI)登録の目的及び効果について伺う。</p> <p>(2) 次に、水田放牧による和牛振興の取り組み状況及び課題について伺う。</p> <p>(3) 和牛TMRセンターの取り組み状況及び課題について伺う。</p> <p>(4) 牛を飼うことを続けたいが、年をとり作業がしんどくなったとか、新たに牛を飼ってみたいが、施設設備等に多大な経費がかかり、なかなか決心がつかないといった声を聞く。</p> <p>牛を飼うことの大変さは、安定した餌の確保にあるのではないか。この解決策として、休耕田や里山を利用して放牧による飼育を行い、冬場は和牛TMRセンターのホールクロップサイレージを利用する等、各種の事業を連携させ、和牛飼育の労力を軽減する取り組みが重要であると考えます。</p> <p>これからの和牛振興の方向性について、市長の見解を伺う。</p>	市長				

順位	8	質問者	山田 聖三
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
2. 在宅を基本としたまちづくりについて	<p>本市の新たな取り組みとして、在宅保育、在宅労働、在宅介護、在宅みとり等、在宅を基本としたまちづくりを進めるべきと考える。</p> <p>今回は在宅介護・在宅みとりについて市長の見解を伺う。</p> <p>(1) まず、本市の在宅介護の取り組み状況及び課題について伺う。</p> <p>(2) 次に、在宅みとりへの取り組み状況及び課題について伺う。</p> <p>(3) 介護人材の不足に対応するため、家族を介護する人を介護従事者として捉え、賃金等の支払いも必要と考えるが、市長の見解を伺う。</p> <p>(4) 人生の最期を住み慣れた場所で迎えたいといったニーズが高まる中、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けるには、医療、介護、地域、行政の連携が重要である。そのためには、地域包括ケアシステムの更なる充実と深化をめざし、「庄原モデル」を構築することが必要と考える。</p> <p>在宅介護・在宅みとりの充実に向けた今後の取り組みについて、市長の見解を伺う。</p>		市長

順位	9	質問者	福山 権二
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 学校における働き方改革取組方針について	(1) 庄原市教育委員会が本年度に作成した「学校における働き方改革取組方針」による具体的な成果と課題について伺う。		教育長
	(2) 新型コロナウイルス感染症の拡大によって、この方針はどのような影響を受けたのか伺う。		
2. 庄原市職員に関する働き方改革について	(1) 庄原市役所における「働き方改革」に関する方針はどのように策定されているのか。併せて、その成果について伺う。		市長 病院事業 管理者
	(2) 新型コロナウイルス感染症対策に伴い、西城市民病院では職員の勤務状況は厳しさを増していると思うが、同病院職員の労働時間管理はどのようにされているのか伺う。		

順位	10	質問者	坂本 義明	項目	質問の小項目及び要旨	答弁を 求める者
1. JR備後庄原 駅周辺の活性化について	<p data-bbox="528 344 1187 448">先日リニューアルオープンしたJR備後庄原駅周辺の活性化について次のとおり伺う。</p> <p data-bbox="528 465 1187 568">(1) 交通発着拠点としての備後庄原駅前の活用策について伺う。</p> <hr data-bbox="517 577 1198 582"/> <p data-bbox="528 591 1187 748">(2) 備後庄原駅周辺のにぎわいづくりに関する協議はどの部署が担当し、どのようになされているのか。</p>	市長				

順位	11	質問者	徳永 泰臣
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. かんぼの郷庄原の今後の活用方針について	<p>かんぼの郷庄原は、令和元年11月に日本郵政株式会社より本市へ譲渡についての打診があり、その後、市民からの意見を求めつつ対応が検討されていると思うが、当施設は本市のまちづくりや活性化に重要な施設であり、市民の関心も非常に高い。かんぼの郷庄原の譲渡打診に対する現在までの状況と今後の方針について伺う。</p>		市長
2. 株式会社比婆の森の自己破産手続き開始決定、休暇村吾妻山ロッジの実質閉館による影響について	<p>比婆山連峰にある県民の森や吾妻山は、冬はスキー、春から秋にかけてはキャンプ、登山、スポーツ合宿など、県内外から多くの利用者に親しまれ、地域の重要な観光資源でもあり、商業活動や雇用の確保にも大きな貢献があったことは事実である。</p> <p>(1) 比婆の森の自己破産手続き開始決定と、それに伴う県民の森施設の一部利用休止、休暇村吾妻山ロッジの実質閉館による本市への影響について、どのように認識されているのか伺う。</p> <p>(2) 県は、比婆の森の自己破産手続き開始決定を受け、施設の維持管理を市や地元業者に委託するとともに、専門家の意見を聞いて経営状況の分析と改善策を検討してきたとのことであるが、市としては、比婆の森の自己破産手続き開始決定に関して検証は行っているのか伺う。</p>		市長

順位	11	質問者	徳永 泰臣	項目	質問の小項目及び要旨	答弁を 求める者
3. 比婆山連峰の 活用について	<p>比婆山については、これまで私を含めて多くの議員が質問をしてきた。古事記編纂から1,300年が経過し、出雲地域では大規模な行事が行われ、多くの集客が図られ、出雲神話として上手く観光資源として使われているが、比婆山神話はあまり広がっていないと思われる。</p> <p>市長は、比婆いざなみ街道物語を打ち出され、ガイド本の発刊など当初はかなり力を入れていたように思うが、その後の取り組みが見えてこない。そこで今後の取り組み等について再度伺う。</p> <p>(1) 本市の比婆山神話はあまり広まっていないと思うが、どのように認識され、今後どのように取り組もうとしているのか伺う。</p> <p>(2) 比婆山御陵の門<small>もんどが</small>やイチイ群生林等の保存について伺う。</p> <p>(3) 比婆山連峰のトイレの現状について伺う。</p>		市長 教育長			

順位	12	質問者	林 高正	項目	質問の小項目及び要旨	答弁を 求める者
1. 人口減少問題 について	<p>平成29年春に庄原市から庄原商工会議所に対し、本市の最重要課題である「人口減少対策」にオール庄原体制で取り組むため、民間による推進体制づくりについて協議があり、これを受け、庄原商工会議所、備北商工会、東城町商工会で協議の上、事業所、団体、自治振興区等の民間により構成する「庄原の人口問題をとことん考える民間会議」を設置し、行政と連携して人口問題に取り組むこととした。平成30年10月22日、同会議の佐々木会長から木山市長に108項目にわたる人口減少対策の提案書が提出されたが、その後の取り組みの状況を伺う。</p>		市長			
2. 旧庄原市内の まちづくりについて	<p>昨年12月議会の一般質問で、庄原いちばんづくりの検証として、「にぎわいと活力」のいちばんで、「新たな『にぎわいの潮流』の創出」について質した。その中で、庄原ショッピングセンタージョイフルや庄原グランドホテル一帯のにぎわいづくりについては、「民間事業者の方の主体的な取り組みが進められる中、関係者の方々と必要に応じて協議してまいりたいと考えている」との答弁があったが、その後、どのようになっているのか伺う。</p>		市長			

順位	12	質問者	林 高正
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
3. 庄原市の教育 の魅力化につ いて	<p>広島県は、大崎上島町に併設型中高一貫教育校県立広島叡智学園を新設してグローバル人材の養成を開始している。また、隣の三次市にも併設型中高一貫教育校が開校しているが、成果・課題が見えてくるのはまだまだ先であろうと思われる。</p> <p>三次市に中高一貫校が開校したこともあり、市民の関心事に「庄原市の教育（人材教育）」がある。価値観の多様化により、教育に関しても画一的教育から個に対応した教育であったり、習熟度にフォーカスした教育など、教育現場に対する要求も多様化してきている。</p> <p>そこで次の点について伺う。</p> <p>(1) 本市の教育の魅力、他市にない特色ある教育は何か。</p> <hr/> <p>(2) まちづくりの観点から、庄原で教育を受けたいと思わせる魅力は何か。</p>		市長 教育長

順位	13	質問者	桂藤 和夫	項目	質問の小項目及び要旨	答弁を 求める者
1. 本市の林業振興策について	<p>今年3月の代表質問でも聞いたが、地域政党きずな庄原議員団では、これまで森林の活用等について、市長に要望や提言を続けてきた。平成30年5月に成立し、平成31年3月に一部改正された森林経営管理法により、令和元年度から森林経営管理制度がスタートして森林環境譲与税が譲与されている。そこで以下の点について伺う。</p> <p>(1) 今年度、森林環境譲与税を使った意向調査を実施されたが、残りは基金に積むことになっている。</p> <p>今後の本市の林業振興策のビジョンをどのように考えているのか、市長の所見を伺う。</p> <p>(2) 「22世紀の庄原の森林づくりプラン」の策定について、22世紀の庄原の森林ビジョンに基づいた実施計画になると言われたが、策定の現状はどうなっているのか伺う。</p> <p>(3) 昨年11月、株式会社ウッドワンと連携協定を締結され、設立された庄原材活用研究会で庄原材の活用方法について検討し、ブランド化を見据えた取り組みをスタートされたが、現在、どのような議論をされているのか伺う。</p>		市長			

順位	13	質問者	桂藤 和夫	
項目	質問の小項目及び要旨			答弁を 求める者
1. 本市の林業振興策について	(4) 本市の林業振興策については、単発的であり、どこへ向かおうとしているのかわかりにくい。もっと国・県、関係機関や林業関係者と協議を重ね、複合的に取り組む必要があると考えるが、市長は本市の林業振興の未来像についてどのように考えているのか、再度、市長の所見を伺う。			市長
2. 市立学校適正規模・適正配置基本計画について	(1) 本市では長い歴史の中で学校の統廃合を繰り返してきている。この統廃合が人口減少や若者の流出などによる地域の疲弊、衰退の要因の一つであると思うが、これに対する市長の認識を伺う。			市長 教育長
	(2) 本市では、市立学校適正規模・適正配置基本計画に基づいて統廃合を進めている。すでに第1グループの小規模校については4校が合意して来年度から統合する予定となり、現在は第2グループへの説明段階に入っているが、一部の地域で全く進んでいない状況にある。この状況については、教育委員会のみでは前に進んでいかないと思うが、この件についてどう認識されているのか、所見を伺う。			

順位	13	質問者	桂藤 和夫	項目	質問の小項目及び要旨	答弁を 求める者
2. 市立学校適正 規模・適正配置 基本計画につ いて	<p data-bbox="549 344 1189 629">(3) コロナ禍の影響により、来年度から統合 予定の小学校の交流などが計画通り消化で きていないと思われる。これに伴う児童の 心のケア等への対応についてどう考えてい るのか。</p> <p data-bbox="549 651 1189 808">併せて、それぞれの保護者や地域から要 望が出ていると思うが、どう対応されてい るのか、所見を伺う。</p>	市 長 教育長				